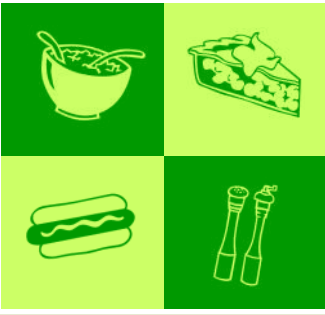


ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

04.06庭
 のリュウノ
 ヒゲでオ
 シッコする
 キキ太。



1 畑は

今年のジャガイモ作付けは、キタアカリ8kg・アンデスレッドと十勝こがね1kgづつ。トトの骨折で畑仕事の大部分はカカー人で行っています。スナップエンドウは花が咲き始め、空豆の花は満開に、葉物野菜は臺が立ち花も咲き、野菜の端境期です。

→種芋の切り口に木灰をシッカリ着け切り口を下に置いてゆく。



↑03.27カカー人でジャガイモ植えをする。→キタアカリの芽を切らぬように種芋をカット →カットしたアンデスレッドとキタアカリ種芋は木灰を付けて腐敗防止をする。



↑農機具小屋でジャガイモ種のカットをするカカ。



∟ジョレンで芋に土を被せる。腰を屈めての仕事は大変だ。



↑03.30スナップエンドウの豆ツル誘引のネット柵を立てた。左隣は花咲く空豆の畝。



↑03.31グリーピースの豆ツル誘引のネット柵も立てた。右上の白花はブルーン、日陰でほとんど果実は実らないです。

目次

1 畑は	1
2 ナナミちゃんのお宿は	1
3 お宿前の畑は	2
4 四月のお味	2

ハイライト

4月15日「ヘリコプターの日」ヘリコプターの原理を考案したレオナルド・ダ・ビンチの誕生日にちなんだ記念日。

「初虹」春は雨の日が多く、空気が潤ってくる時期。七十二候では「虹初現」の頃になり、雨上がりにキレイな虹が見られるように。春に始めて見える虹が「初虹」。



04.14春うらら外遊びのハナ。

かい頃の虹は、まだ淡くはかない印象です。夏にかけて日差しが強くなるにつれ、虹もくっきりと見えるようになります。これからの季節、雨上がりの空を見上げて虹を探してみたいかがですか。今日は雨、車についた黄砂が流されるかしら。この数日は、黄砂で山並みもボンヤリ見え、花粉症と相まって目や鼻がムズムズとしていましたが、久しぶりの雨で家にこもり、遅れてしまった農事通信を書いています。窓の外は雨に濡れた萌黄の林。

2 ナナミちゃんのお宿は



←03.28白花のスモモ隣にクロモジの木、香りある木で高級爪楊枝に使われる。→小さな黄色の花



お宿は歩みを止めましたが。庭や周辺の木々と草花は、萌黄や若緑に変化しています。お宿前の畑はトマトフレームやツル豆柵などの片付けも終わり、耕やせるように準備は整いましたが、耕しても野菜作りはせずに売却を待つだけに。



03.28撮影



04.05撮影

3 お宿前の畑は

延び延びになっていたナナミちゃんのお宿前の畑、痛いけれどトモパイプを抜いたり、ツゲの木を切り倒したりした。この畑と宿は手放すことに決めたので、畑は力カでも操作できるカセットボンベ管理機が届いたら、力カが操作の練習をしながら耕して終わり、野菜の種も蒔かず苗も育てず、耕したままで売却をすることに、慣れ親しんだ庭畑ですが。



↑ツル豆柵やトマトのパイプは、庭畑では使わない。上の畑へカカトで運んだ。



↑03.22お宿前の畑、カカトでツル豆とトマトのパイプを片付ける。①踏み台作業は危ないと力カがやる。②剪定が大変なツゲは切り倒した。③04.10お宿前の畑は、片付け終わり耕すだけに。

4 四月のお味



←03.24大きな原木椎茸とホウレン草を収穫、椎茸の乾燥保存や料理をしたり大忙しの力カの日。大きなホウレン草の茎は油炒め塩味で。葉は茹でてお浸しで食べた。



↑03.25花が咲き始めた今年最後の露の臺を収穫し、水洗いをして準備する。

↑調味料は、わが家の丹波黒豆と麦麴で作った黒豆味噌と砂糖を使う。



↑七輪で椎茸佃煮作り、甘辛味の椎茸佃煮の完成

↑天日干し乾燥椎茸作り。乾燥後は瓶詰保存、色々な料理に使います。

↑03.25ご飯を炊いて、さし酢梅酢で酢飯を作り、椎茸レンコン人参に油揚げ濃い目の味で煮付けた具材と混ぜ合わせ五目御飯に。

↑ウナギのかば焼きタレとからめて焼き上げて。

↑ウナギのかば焼き五目ご飯のバック詰め。



↑椎茸の軸は捨てずに輪切りに、冷凍してある実山椒とジャコで佃煮作り

↑出来上がったら瓶詰にして熱々ご飯に振りかけて、色々な味が楽しめる一品。

大きな原木椎茸収穫の3月24日と翌日の25日、力カは玄関土間に七輪持ち込み、キッチンIHのダブル使いで椎茸を使った料理に露味噌作り、家の中は色々な匂いで満たされた。わが家の原木椎茸が大活躍の春も、4月初めで盛りは過ぎて秋までの休眠期間へ。畑も端境期で種類も少なく、植え付けや種蒔く季節となりました。



↑冷凍保存をして置いて、家族へ野菜を送る時の保冷材も兼ねてます。